141

(1)

人工衛星における重力加速度をg'、

人工衛星の高度をかとする。

とする。

$$F = mg$$

$$F = G \frac{Mm}{r^2} \text{ LD},$$

$$mg = G \frac{Mm}{r^2}$$

$$g = g'$$
 , $r = R + h$

$$g = g$$
 , $r = R$

をそれぞれ代入して、

$$mg' = G \frac{Mm}{(R+h)^2}$$

$$\cdots \textcircled{1}$$

$$mg = G \frac{Mm}{R^2}$$

①, ②式より、

$$R = 6.4 \times 10^6 \, m$$
 , $h = 1.6 \times 10^6 \, m$

を代入して、

$$\frac{g'}{g} = \frac{R^2}{(R+h)^2} = \frac{(6.4 \times 10^6)^2}{6.4 \times 10^6 + 1.6 \times 10^6} = 0.64$$

よって、0.64倍である。

(2)

人工衛星に働く向心力F'は、

$$F' = \frac{mv^2}{r}$$

向心力F'と重力Wが等しくなればよいので、

$$\frac{mv^2}{r+h} = 0.64mg$$

$$r=6.4\times 10^6m$$
 , $h=1.6\times 10^6m$, $g=9.8\,^m/_{S^2}$ を代入して、 $v=7.1\times 10^3\,^m/_{S}$

$$T = \frac{2\pi r}{r}$$
より、

$$r=R+h=8.0 imes10^6\,m$$
 , $v=7.1 imes10^3\,m/_{S}$ を代入して、

$$T = \frac{2\pi(R+h)}{v} = \frac{2\pi \cdot 8.0 \times 10^6}{7.1 \times 10^3} = 7.1 \times 10^3 s$$